



ありがとうございました（参観会 PTA 総会 引き渡し訓練）

4/21（金）は、お忙しい中、参観会、PTA 総会、引き渡し訓練に御参加いただきありがとうございました。新しい学年になって初めての参観会。お子さんの様子はいかがでしたでしょうか。きっと、頑張っているところを見てもらおうと張り切って取り組んでいる姿を御覧いただけたのではないかと思います。今、子供たちは、昨年度より一段上の学習内容、学習の仕方を身に付けられるように取り組んでいます。学習の仕方を身に付けると、主体的に学習に取り組むことができるようになります。身に付けられるまでは、時間が掛かりますが、着実に前進していきたいと思います。今後とも御支援をよろしくお願いします。



「また明日。」とみんなが思える学校に！



下阿多古小 150 年のあゆみ①「下阿多古」の地名

明治22年3月の市町村制施行により下阿多古村が誕生しました。阿多古の下方に位置することから下阿多古となりました。それまでは阿多古郷内を、石神、上野、瀬林、中村、渡ヶ島、青谷、米沢の7ヶ村と日明とに分けられていました。

阿多古は古くから人々が暮らしていて、石器時代の矢じり、石斧、石の錘、縄文式土器、弥生式土器などが出土し、古墳もあります。

阿多古という地名は、約千年前の平安時代中頃に成立した「わみやうしょう和名鈔」という本に「あおたのごう碧田郷（阿乎多郷）」という郷名があり、天竜市大谷の国学者内山真龍翁（1740～1821）の著書、「遠江国風土記伝」の中でこれを阿多古の地であるとしています。

時代は下って、鎌倉時代の文献、嘉元3年（1305）の「室町院御領目録」には浜松庄という荘園内の郷として「阿多古」と明記されています。いつから阿多古となったかは、はっきりしませんが、古くからの地名であると言えます。

「下阿多古の昔話」より